

(仮称) 山潟コミュニティハウス整備事業
基本構想

(仮称) 山潟コミュニティハウス整備事業 基本構想

1. はじめに

(1) 地域の特性

新潟市中央区にある山潟地区は、ハクチョウの越冬地でもあり多くの野鳥が生息する鳥屋野潟の南側に位置し、江南区との区境である日本海東北自動車道北側には水田や畑も広がる区内でも自然豊かな地域である。また、大型ショッピングセンターを中心とした郊外型大規模店舗、スポーツ施設の「新潟スタジアム」や「新潟県立鳥屋野潟公園野球場」、本市が誇る食と花を体験できる「いくとびあ食花」などの広域集客施設が集まる賑わいと活気のある地域であり、鳥屋野潟南部開発計画により今後も計画的なまちづくりが進められる予定である。

地域コミュニティとしては、平成19年2月、地域における昔からのつながりを大切にし、まちづくりを推進させるため、山潟地区コミュニティ協議会が設立された。設立以降、地域の防犯・防災や環境美化などの課題解決に取り組んできているが、中でも「やまがたお互いさま」事業として行っているボランティア登録制度では、これまで多くの中学生も活動に参加しており、地域一体となって支えあいのまちづくりの実現に取り組んでいる。

(2) 建設までの経緯

山潟中学校区は市内で唯一の市有コミュニティ施設未設置地区となっており、これまで地域の方々はコミュニティ活動の拠点として弥彦村が所有する山潟会館を利用してきたが、老朽化が進み、施設の修繕対応が難しくなってきた。

地域住民はコミュニティ協議会を中心に、新たなコミュニティ施設の整備に向けて長年にわたり本市へ要望をおこなうとともに、地域における勉強会を実施してきた。

この度、本市として新たなコミュニティハウスを整備することを決定したことから、山潟地区コミュニティ協議会を中心とした地域住民の方々と共に新たなコミュニティ施設のあり方について検討を重ね、基本構想策定に至ったところである。

2. 基本理念

整備する施設は、山潟地域において地域の誰もが気軽に立ち寄り、活動し、そこで交流が生まれることにより地域の連帯感を醸成するコミュニティ活動の拠点として、また隣接する山潟中学校をはじめとする地域の小・中学校と連携した地域づくりの拠点として、将来に渡り住みよい地域づくりを推進していくための核となる様、基本理念を次のとおりとする。

- ・地域住民が愛着を感じることができる施設
- ・誰もが気軽に立ち寄り、学習することができる施設
- ・乳幼児から高齢者、障がいのある人も含め、さまざまな利用者に配慮した使いやすい施設
- ・施設の細部にまで管理の目が届き、利用者が安全・安心に利用することができる施設
- ・隣接する中学校に配慮した上で、周辺の豊かな自然環境を積極的に取り入れた明るく風とおしの良い施設
- ・温熱環境が考慮され、利用者が快適に過ごすことができ、また省エネルギーで運営できる施設
- ・今後の更なる少子高齢化や高度情報化などの時代変化に柔軟に対応できる施設

3. 設置根拠条例

新潟市コミュニティセンター及びコミュニティハウス条例

4. 施設の概要

○建設予定地

新潟市中央区山二ツ字新田前 1-1 内（山潟中学校敷地を一部分筆）

○構造

木造又は鉄骨造・平屋建て

○建築面積（延床面積）

約 5 0 0 m²

○敷地面積

1, 4 2 2 m²

5. 施設運営の考え方

コミュニティハウスは地域に根ざした施設であることから、本市では施設管理については、基本的には地域コミュニティ協議会や地域住民を主体として組織された管理運営委員会などを指定管理者として指定し、施設管理を行っていただいている。

「(仮称) 山潟コミュニティハウス」の管理運営手法についても、指定管理者制度を活用した管理を前提として地域住民と検討していく。

6. 主要諸室一覧

区分	想定面積	主な目的	備考
ホール 1	80 m ²	地域の集会・発表・軽運動など幅広い用途に利用 ※ホール1・2、会議室1を一体として、140人程度収容	<ul style="list-style-type: none"> ・可動式壁（防音） ・収納ステージ ・スポットライト ・音響設備 ・プロジェクター ・スクリーン
ホール 2	80 m ²	地域の集会・発表・軽運動など幅広い用途に利用 ※ホール1・2、会議室1を一体として、140人程度収容	<ul style="list-style-type: none"> ・鏡（カーテン付き） ・非常口2ヶ所 ・下駄箱 ・ダンス・軽スポーツのできる天井高
会議室 1	40 m ²	地域の集会・発表・軽運動など幅広い用途に利用 ※ホール1・2、会議室1を一体として、140人程度収容	<ul style="list-style-type: none"> ・可動式壁（防音） ・机・イス ・下駄箱 ・ダンス・軽スポーツのできる天井高
会議室 2	40 m ²	コミュニティ活動・自治会活動及び生涯学習等の場として利用 ※会議室3と一体として、40人程度収容	<ul style="list-style-type: none"> ・可動式壁（防音） ・流し場（可動式壁にて分離可） ・下駄箱

会議室 3	40 m ²	コミュニティ活動・自治会活動 及び生涯学習等の場として利用 ※会議室2と一体として、40 人程度収容	<ul style="list-style-type: none"> ・可動式壁（防音） ・収納2m²（畳・カーペットなど） ・下駄箱
倉庫 1	15 m ²	机・イスなど収納	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール1・2に隣接
フリース ペース	50 m ²	いつでもだれでも気軽に使える オープンな雰囲気の広場	<ul style="list-style-type: none"> ・机・イス ・スタディスペース
コミ協事 務室	合 わ せ て 50 m ²	山潟地区コミュニティ協議会の 事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・専用電話回線 ・テレビアンテナ
管理人室		施設の一般的な管理室	<ul style="list-style-type: none"> ・専用電話回線 ・電話機 ・入り口付近に配置（施設全体が見渡せるよう）
共用	—	玄関（風除室）、トイレ（多機 能トイレ含む）、給湯室	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン ・土足利用（諸室以外）
その他	—	駐車場、駐輪場、倉庫、街灯、 外部水栓	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り駐車台数を確保

7. 整備スケジュール

令和3年度	基本構想
令和4年度	基本・実施設計、準備工事（山潟中学校グラウンド工事）
令和5年度	コミュニティハウス建設工事
令和6年度	開館

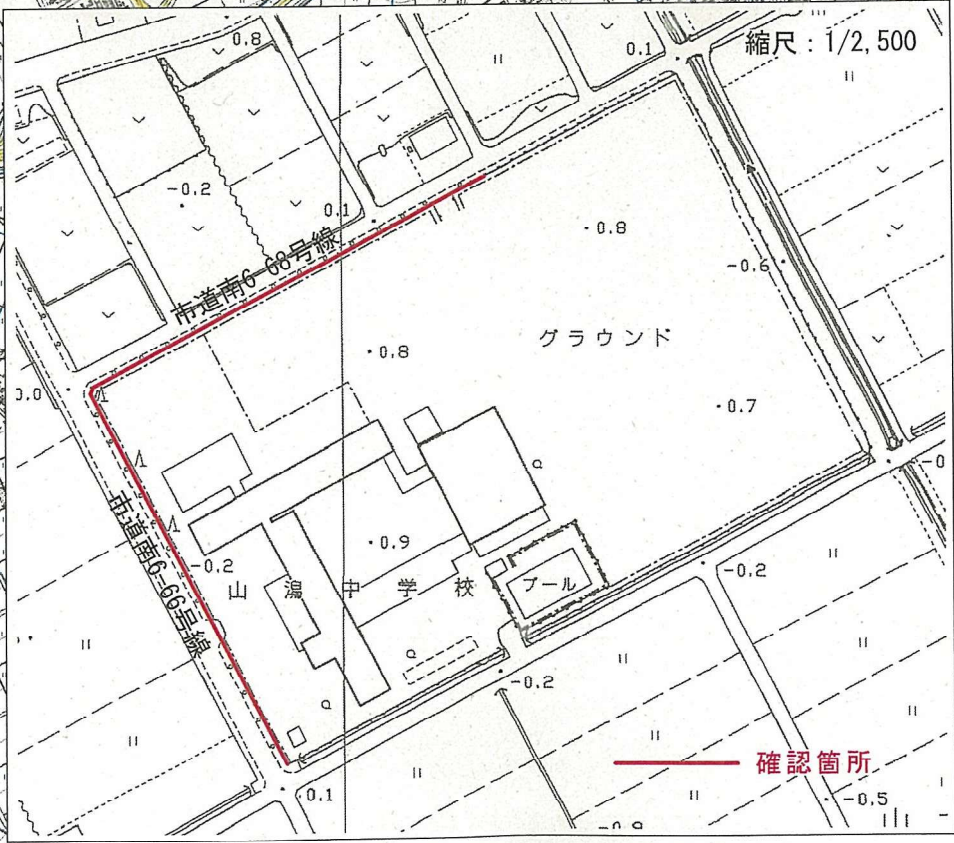
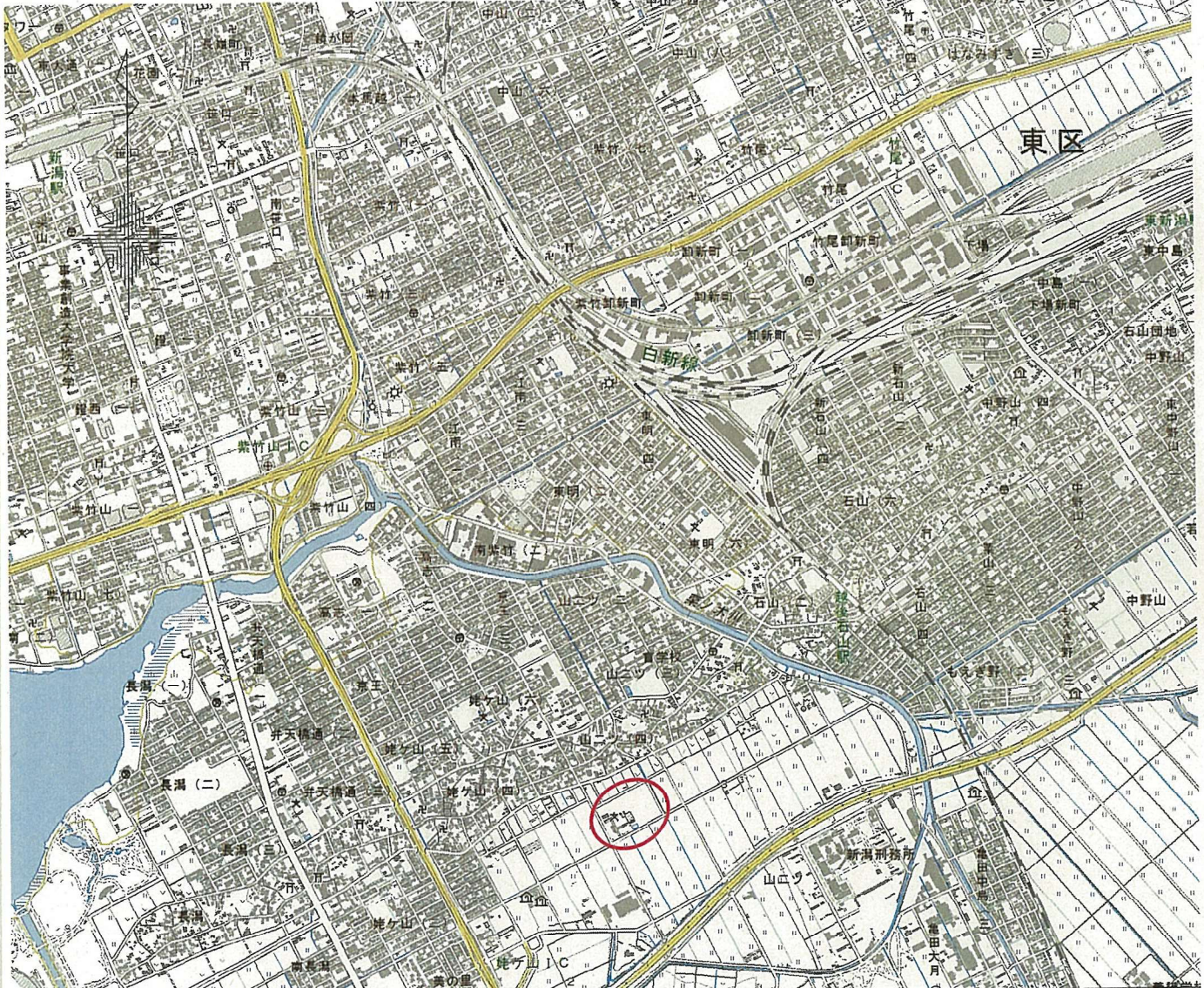
8. 添付資料

- ① 位置図
- ② 現況写真
- ③ 配置イメージ図及び主要諸室イメージ図

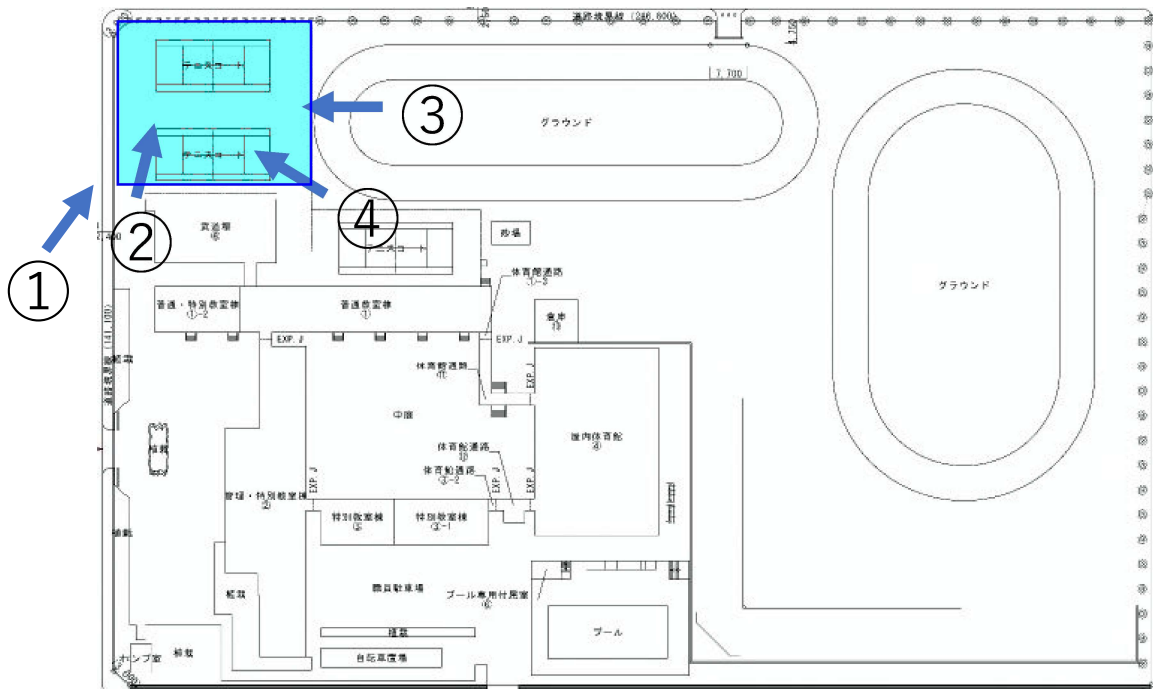
位置図

所在：新潟市中央区山ニツ字新田前

縮尺：1/25,000



建設予定地—現況写真



①



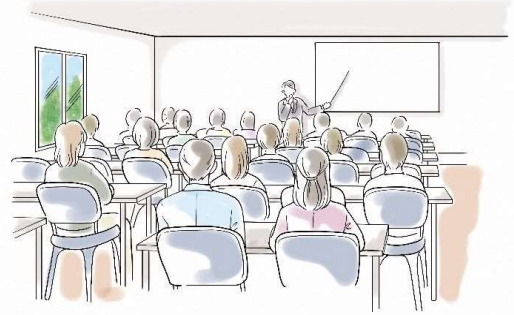
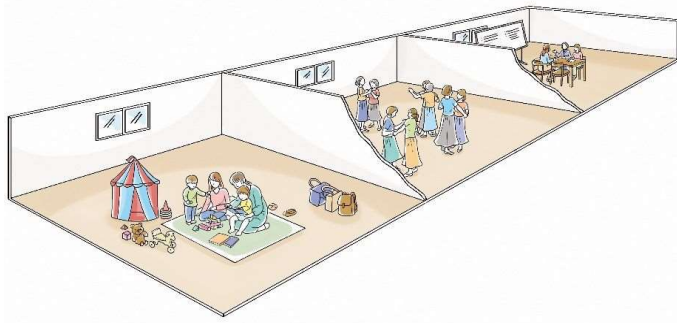
②



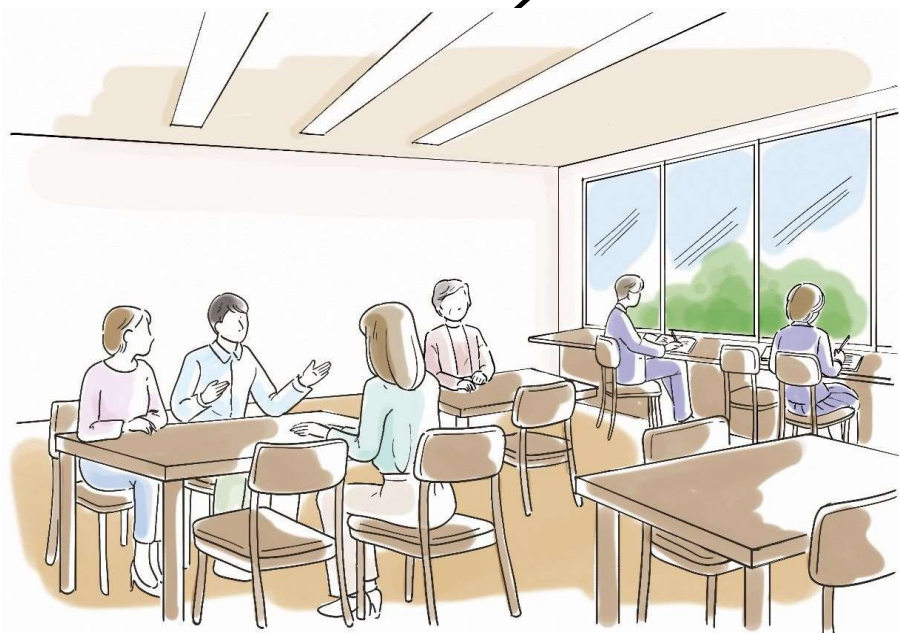
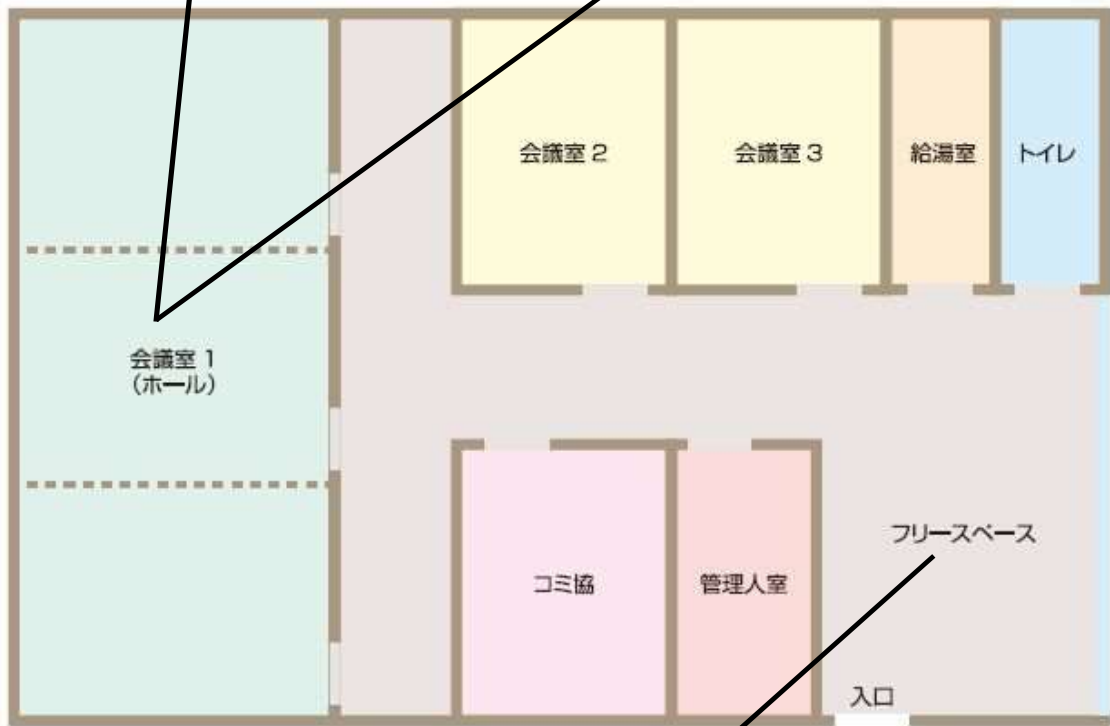
③



④



※ 区切りを取り払った場合



◆ 上記の配置図及び諸室のイメージ図はあくまでもイメージであり、実際の整備内容とは異なります。